

- ① 訪問先 神戸フットボールクラブ
田辺文庫

- ② 所在地
神戸市中央区八幡通 3-2-5 IN
東洋ビル 201

- ③ HP の有無
田辺文庫についての HP はないが、
神戸 FC については有り。 <http://www.kobe-fc.com/>



- ④ 主たる収蔵品・収蔵資料解説
- ・田辺治太郎（五兵衛）氏関連資料
 - ― 田辺治太郎（五兵衛）氏による『サッカー』という雑誌の連載記事「烏球亭雑話」の直筆原稿等。田辺氏の人物史研究のための史料価値は超一級。
 - ・サッカー関連雑誌
 - ― ベースボールマガジン社出版の『週刊サッカーマガジン』のバックナンバー，田辺氏が記事を連載していた雑誌『サッカー』バックナンバー，等。後者については国会図書館に所蔵されていない号を含む。
 - ・大学，高校のサッカー部史
 - ― 神戸大学や京都大学，浪商学園，御影師範（現神大発達科学部），神戸一中（現神戸高校），神戸経済大学（現神大経済学部）等のサッカー部史。
 - ・神戸 FC 関連史料。
 - ― 神戸サッカー友の会（神戸 FC の前身）の会報『友の会ニュース』，神戸 FC の会報『KFC ニュース』等

- ⑤ 調査者コメント

今回，初めて歴史史料を所蔵する文庫を訪問するということで，史料とはどのような場所に保管されているのだろうかと期待と好奇心が入り混じったような気持ちで伺わせていただいた。神戸 FC のオフィスに到着し，案内されたのはオフィスの隅に本棚で仕切られた大人 2〜3 名ほどしか入れないようなスペースだった。正直，私が想像していたよりもずっと小さな空間であった。しかし，そこが神戸 FC 所蔵の田辺文庫である。田辺文庫の中には日本のサッカー史を語る上で重要な史料が多く保管されており，ここにしかないと思われる超貴重な史料の宝庫といった具合だ。歴史を扱うゼミに所属してまだ半年しか経っていない，歴史研究に関する知識が未熟な私たちでも，感覚的に価値のあるものであることがわかるような史料が，本棚に多数収納されていた。ほんのわずかな空間に歴史が詰まっていると感じさせる文庫であった。

この田辺文庫を訪問し，歴史史料がどのような所にあるかということを経験的に理解できた。この経験を自分たちの研究の史料探索に役立てていきたいと思う。

- ⑥ 調査者氏名

10 月 22 日